

編集・発行 猪名川町役場町長公室広報広聴係

〒666-0292 兵庫県川辺郡猪名川町上野字北畠11-1 電話番号 0727(66) 8707 ファックス番号 0727(67) 2255
ホームページアドレス(URL) <http://www.town.inagawa.hyogo.jp> 電子メールアドレス koho@town.inagawa.hyogo.jp

毎月1日・
15日発行

テーマ 夢・創造・21世紀



じよ 第34回 いながわまつり

創造と発見のゾーン

屋内の部（イナホール・生涯学習センター）



▶ ▲昨年の発表と展示の様子



議長
福田 長治さん

このたび、第309回猪名川町議会定例会におきまして議長に就任いたしました。榮職につかせていただけに当たり、その責務の重

議長
福田 長治さん

議長に福田長治さん
副議長に中島孝雄さん



副議長



監査委員
山崎 福市さん

さて、21世紀、地方分権推進による自治責任の範囲が拡大し、最終意思決定機関としての責任が格段に重要なになってきております。その半面で、財政措置も大きな課題となっており非常に厳しい行政運営の時期であります。こうした中、役員改選により再スタートした議会は、新たな自己改革や活性化

たすべき役割を再認識しており、一層の意欲と抱負をもって、山積する課題を解決し、住民の皆様の負託に応え、心の通い合う明るく住みよいまちづくりに最大の努力をする決意を新たにしております。今後とも、一層のご支援、ご協力をお願い申し上げ、議長就任のご挨拶いたします。

議長に選出された福田長治さん（54歳・差組）は、昭和58年に初当選以来5期目で、議長・監査委員・一般会計予算特別委員長・特別・企業会計予算特別委員長を歴任。議長は前期に引き続き選出され

副議長に選出された中島孝雄さん（51歳・若葉）は、平成3年に

初当選以来3期目で、総務文教委員長、一般会計決算特別委員長を歴任しています。また、監査委員に選出された山崎福市さん(64歳、伏見台)は、平成3年年初当選以来3期目で、産業建設委員長、特別・企業会計予算特別委員長を歴任しています。

所属委员会一览表

常任委員会	総務文教	○下坊辰雄○関口功男・國田頼雄・小森千加子・時崎巖 ・福田長治・南初男
	産業建設	○福井昌司○新賀保・池上哲男・切通明男・福本典子 ・川村啓次・森田良一
	民生福祉	○道上善崇○小坂正・中島孝雄・福井澄栄・山口昌 ・山崎福市
議会運営委員会		○南初男○小森千加子・下坊辰雄・関口功男・道上善崇 ・山口昌(欠員2人)
特別委員会	一般会計決算	○福井昌司○新賀保・切通明男・國田頼雄・小森千加子 ・下坊辰雄・関口功男・福田長治・福本典子・川村啓次
	特別・企業会計決算	○森田良一○小坂正・池上哲男・時崎巖・中島孝雄 ・福井澄栄・道上善崇・南初男・山口昌・山崎福市
	第二名神自動車道路対策	○山口昌○福本典子・池上哲男・切通明男・小坂正 ・福田長治・道上善崇・南初男・森田良一・山崎福市
	議会広報	○池上哲男○新賀保・小坂正・福井昌司・福本典子 ・森田良一(欠員2人)

○=委員長、○=副委員長

【常任委員会】常設の委員会で、議員はいずれかの委員会に所属しています。

いながわ特派員報告



鈴屋 郁子

森 英美子

大切な命

あなたは救えますか？

▶ 救急フェア・心肺蘇生法体験コーナーでの様子

猪名川町の救急体制

猪名川町における平成12年度の救急出動件数は845件で発生率は1日に2~3件、町民35人に1人の割合で救急隊に搬送されることになります。また、救急車の現場到着時間は平均5~6分でした。

町の消防署は紫台にある本署と鎌倉の北出張所があります。初原橋を境界に南を本署、北を北出張所が管轄しています。

猪名川町には救急車が2台あり、2台ともが高規格救急車です。救急車には、必ず救急救命士が乗っており、「救急」「症状の悪化防止」「苦痛の軽減」などのため医師の指導のもと救急救命処置を行っています。現在、町では9人の救急救命士が活躍されています。

そのお一人に話を伺いました。「私は119番にかかってきた電話、また患者さんやご家族の方にも誠意を持って接するよう常に心がけています。重症で搬送された人が元気になって社会復帰されたと聞くと、この仕事をやっていて本当によかったと思思います。そのことで、自分達のやっている事に間違いはなかったと確信でき、また今後の自信につながります。」そう語られる姿は、責任感に満ちていて、とても頼もしく思えました。

迷ったら 119番へ

「119番に電話をしようか、どうしようか」と迷った経験はありませんか。「どんな時でも、迷ったら119番に電話して下さい」と救急隊から心強い言葉をいただきました。救急車の出動だけではなく、夜間診察してくれる病院の紹介や、適切な応急処置の口頭指導なども行ってくれます。電話では必要なこと（名前、場所、状況など）を救急隊の方から聞かれます。落ち着いて答えましょう。救急隊は電話の内容から、必要な準備をして出動します。1本の電話から救急医療はすでに始まっています。



集記 編後

男性ばかりで、なんとなく行きにくかった消防署ですが、実際は皆さん優しく礼儀正しく、そして本当のプロ意識を持った頼もしい人達ばかりでした。いつお世話になるかも知れない救急隊。そんな時彼らが駆けつけてくれると思うと、とても心強く感じました。私たちの命を守るために、24時間働き続けている消防署の皆さん、本当にご苦労様です。しかし、命を救えるのは、救急隊だけではありません。

いながわ特派員

毎年9月1日から15日までは、「救急医療週間」です。猪名川町消防本部では、一人でも多くの人に正しい救急救命の知識と技術を身につけてもらうため、また必要性を理解してもらうため、5年前から「救急フェア」を開催してきました。

今年は9月9日、ジャスコ猪名川店3階において行われ、私達特派員も一日救急隊長として、フェアのお手伝いをさせていただきました。

今回は、猪名川町の救急フェアと救急体制を合わせて取材しました。皆さんに救急救命について、改めて考えてみてほしいと思います。



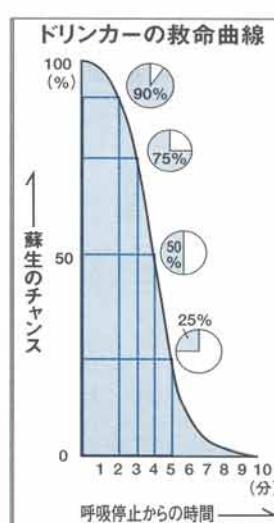
救急の日にちなみ9月9日、約500人の参加のなか救急フェアが開催されました。心肺蘇生法体験コーナーでは、救急隊の話に耳を傾け、実際に体验されているご家族連れが多く見かけました。また、走っている姿を見ても、内部をよく見たことのない救急車を皆さん興味深く見学していました。町内外からたくさん的人が来られました。私はが思つていて、始めはどれくらいの人が来てくればいいだろうと、とても心配でした。実際に、皆さん救急救命について関心があることを実感しました。

消防署では、ただ待っているだけではない、住民に積極的に働きかける救急・消防を目指しています。このようなフェアを開催することは、皆さんの意識を高めることに役立つたのです。このようにフェアの中でも230人にアンケートに答えていただきました。結果から救急救命や蘇生法に興味を持った人が多いほど、蘇生するチャンスは高くなります。しかし、救急車が到着するまでの平均時間は5~6分でした。結果から蘇生のチャンスは25%にまで減少してしまいます。

救急講習を受けましょ

なぜ消防署は、救急講習に力を入れているのでしょうか。それは、救命率向上において、事故現場での心肺蘇生法が最も重要なと言わされているからです。下記のグラフをご覧ください。これはドリンカーの救命曲線といい、呼吸停止後に蘇生法を行った時の蘇生する割合を示したグラフです。呼吸停止から心肺蘇生法の処置が早ければ早いほど、蘇生するチャンスは高くなります。しかし、救急車が到着するまでの平均時間は5~6分であります。この間に蘇生のチャンスは25%にまで減少してしまいます。

9番通報してから一刻も早く適切な応急手当を行う必要があります。そして、その応急手当を行なうごとに苏生のチャンスが増加します。そのため、蘇生のチャンスは25%にまで減少してしまいます。



▲ 救急車の中はどうなってるの？

救急講習

突破！

猪名川町での救急講習受講者が5千人を突破しました。9月9日、2千人目である、道坂仁水さん（六郷中学校講師）に消防長より受講記念証と記念品が贈られました。道坂さんは「生徒にも一般常識として蘇生法を知って欲しいです」と語りました。



講習会は団体、個人とも随時受け付けています。詳しくは猪名川町消防署（☎ 66-0119）へ。

救急講習

突破！

猪名川町での救急講習受講者が5千人を突破しました。9月9日、2千人目である、道坂仁水さん（六郷中学校講師）に消防長より受講記念証と記念品が贈られました。道坂さんは「生徒にも一般常識として蘇生法を知って欲しいです」と語りました。

